

## 技術・経営診断技術開発研究

将来の地域農業像や農業経営像を示すとともに、実証研究  
で開発された技術を体系化し、導入効果を解明



### ■ 総括機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター

### ■ 参画研究機関

(独立研究機関)

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター

(公立試験研究機関)

宮城県農業・園芸総合研究所

(大学)

公立大学法人宮城大学、公立大学法人岩手県立大学

(企業)

株式会社三菱総合研究所

# 研究の概要

## 研究内容

先端技術が早期に農業経営・漁業経営に導入されることで被災地の経営改善を支援することを目的に、先端技術の現地実証地区における農業経営や地域農業の現状の把握・分析を行い、将来の地域農業像や農業経営像、さらに、漁村や漁業経営の姿を提示する。

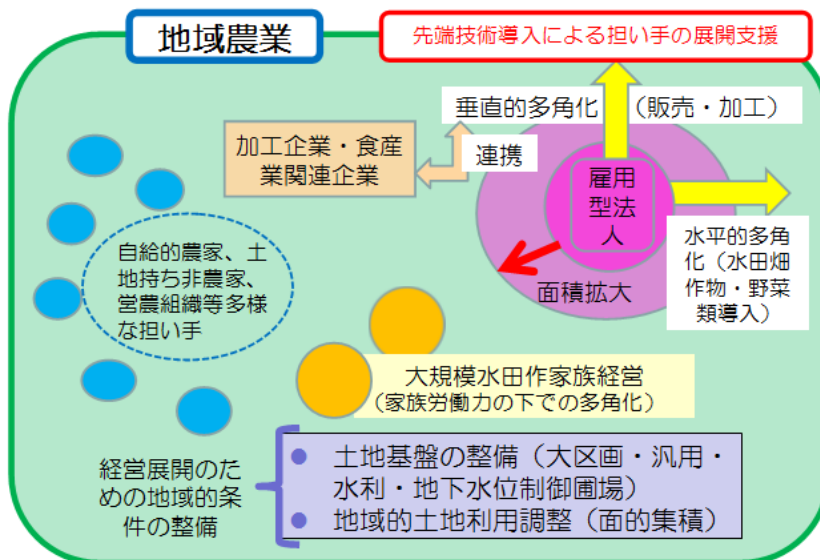
また、それらの将来像に基づき実証研究で開発された技術を体系化し、導入する際の経営体単位及び地域単位での効果を明らかにする。

## 個別技術の特徴

- 体系化の観点から経営シミュレーション等を通して先端技術を評価
- 実証経営体から作物別作付面積、投資額、農作業実績、栽培履歴、経営収支等の経営データを入力し、経営部門別及び経営全体の分析を実施
- モニタリングに係る分析・評価手法の内容について検討するとともに、モニタリング指標となるKPIIについて類型別に整理

## 研究の展開状況

- 先端技術の導入により目指す地域農業・農業経営像を提示



- 現地実証経営の作業日誌データを収集し解析
- 被災地の農業経営の生産性、収益性の現状と課題を抽出
- 現地実証における先端技術の評価
- 農業者、漁業者への聞き取り調査、アンケート調査を実施

## 研究目標

先端技術が早期に農業経営・漁業経営に導入されることで被災地の経営改善を支援することを目的に、先端技術の現地実証地区における農業経営や地域農業の現状の把握・分析を行い、将来の地域農業、農業経営、漁村・漁業経営の姿を提示する。また、それらの将来像に基づき実証研究で開発された技術を体系化し、導入する際の経営体単位及び地域農業単位での効果を明らかにする。



事業の到達目標(平成29年度末)

経営規模拡大計画の策定支援や経営分析を通して実証経営の経営展開を支援するとともに、先端技術の体系化を進め、普及を促進

## 研究課題

- (1)被災地における先端技術導入に関わる経営経済的評価手法と先端技術導入・実証に対応した営農計画・経営診断手法の開発
- (2)先端技術導入の現地実証経営の経営分析
- (3)農業経営における先端技術導入効果の解明
- (4)地域農業及び農村における事業モニタリング手法の検討
- (5)漁業経営・漁村における先端技術導入効果の解明
- (6)先端技術の普及・展示手法の開発及び開放型研究拠点の整備

# 実証研究の内容

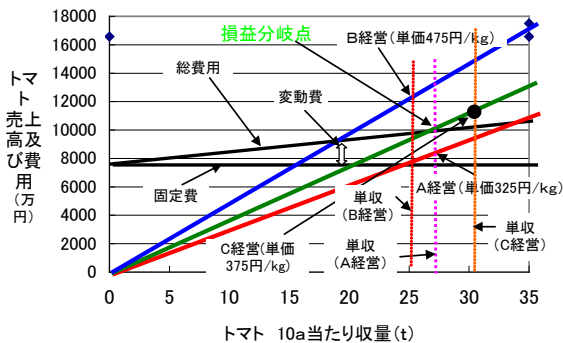
## 研究の目的

実証研究で開発された技術を体系化し、先端技術導入に当たっての経営体単位及び地域単位での効果を提示

### 農業・農産型先端技術の評価

#### 1. 農業経営・農村における先端技術導入効果の解明

(中央農業総合研究センター、東北農業研究センター、宮城県農業・園芸総合研究所)



注: 図中の固定費・変動費はC経営の場合を示している。

- 農業・農村型の作物関係実証課題の評価手法について、整数計画法を組み込んだ手法を開発現地実証経営の経営分析の実施被災地の水田作経営や施設園芸経営の経営調査を実施
- 会計データ、技術構造、作業時間等に関するデータを収集・解析
- 事業モニタリングシステムの適用可能性、分析・評価手法等を検討

### 漁業・漁村型先端技術の評価

#### 2. 漁業経営・漁村における先端技術導入効果の解明

(宮城大学、岩手県立大学)



- 水産加工に取り組む企業の調査を実施(大船渡魚市場、釜石第二魚市場、宮古魚市場等)
- 岩手県沿岸部の漁協に対する聞き取り調査を実施漁業者等へのアンケート調査を実施

### 開放型研究拠点

#### 3. 先端技術の普及・展示手法の開発及び開放型研究拠点の整備

(宮城県農業・園芸総合研究所)

#### 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(農業・農村型)のページ

食料生産地域再生のための先端技術展開事業を紹介します。現在、実施されている課題は7課題(縦覧表を入れておきます)です。

土地利用型農業技術の実証研究	大規模施設園芸技術の実証研究	露地園芸技術の実証研究	果実生産・流通技術の実証研究
農産物加工技術の実証研究	未利用エネルギー活用実証研究	減災・防災システムの開発・実証研究	耕野アグリサービスの田んぼアート

- 宮城県農業・園芸総合研究所内において、開放型研究拠点を整備
- 視察見学への対応や各種の打ち合わせ場所として提供
- ホームページの立ち上げ

## 研究課題間の連携

被災地における先端技術導入に関わる経営経済的評価手法と先端技術導入・実証に対応した営農計画・経営診断手法の開発

先端技術導入の現地実証経営の経営分析

農業経営における先端技術導入効果の解明

地域農業及び農村における事業モニタリング手法の検討

漁業経営・漁村における先端技術導入効果の解明

先端技術の普及・展示手法の開発及び開放型研究拠点の整備

## 開放型研究室(オープンラボ)

### ■ 農業関係

#### 先端農業情報ステーション(AIS)

～「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(先端プロ)の情報集積発信基地～

宮城県農業・園芸総合研究所内に拠点を置いて、生産者、農業関係団体、技術普及関係団体、学校関係者、研究者等幅広い方々に、本実証研究に関するパネル展示・映像展示等及び研究実証地の現地見案内を行っています。

##### AISの役割

- 先端プロに関する情報の集積と発信
  - ・ 事業実施状況及び成果の集積
  - ・ 場内パネル展示と案内
  - ・ 実証試験現地の案内
  - ・ ホームページの運営管理
- 先端プロに関する研究者間ネットワークの構築

##### 連絡窓口・申込先

宮城県農業・園芸総合研究所企画調整部内  
(担当: 高田、大沼)  
所在地: 宮城県名取市高館川上字東金剛寺1  
電話: 022-383-8118  
FAX: 022-383-9907

##### 一般向け場内案内と現地案内について

(場内案内)

- ・ 月～金 10:00～16:00(随時)
- ・ 1回60分程度、30名程度まで
- ・ 希望日の3日前までにお申込みください

(現地案内)

- ・ 毎週火曜日、木曜日 9:30～16:30の間
- ・ 午前コース 9:30～12:00の間  
名取地区、山元地区のいずれか
- ・ 午後コース 13:00～16:30の間  
名取地区、山元地区の2地区
- ・ 1回30名程度まで
- ・ 希望日の前々週の金曜日までに申込みください。
- ・ **現地での移動手段は各自で手配をお願いします。**

(申込み方法)

FAX申込み用紙に希望日時、人数、代表者の所属、氏名、連絡先、希望内容を添えて、連絡窓口まで申込みください。

### ■ 漁業関係

漁業関係は、岩手県水産技術センターに設置しています。

(連絡窓口・申込先)

岩手県水産技術センター

■住所: 岩手県釜石市大字平田3-75-3

■電話: 0193-26-7911(代表) ■FAX: 0193-26-7910

## 問合せ先

- 担当: 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター
- 電話: 029-838-8874
- E-mail: umemoto@affrc.go.jp